

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-120316

(P2000-120316A)

(43) 公開日 平成12年4月25日 (2000. 4. 25)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

テーマコード (参考)

E 0 5 C 17/54

E 0 5 C 17/54

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10-327425

(22) 出願日 平成10年10月13日 (1998. 10. 13)

(71) 出願人 598158853

鶴岡 哲矢

東京都中央区勝どき4丁目1番2号-604

(72) 発明者 鶴岡 哲矢

東京都中央区勝どき4丁目1番2号-604

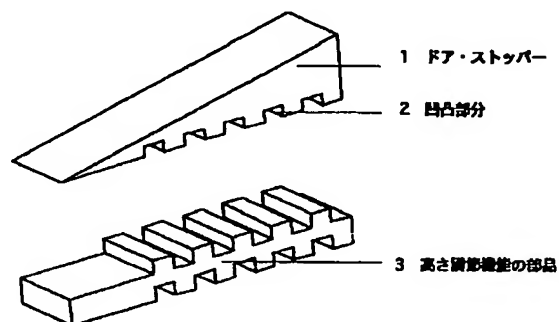
(54) 【発明の名称】 高さ調整機能付きドア・ストッパー

(57) 【要約】

【課題】 ドアと床の隙間の高さに応じて、凹凸のついた高さ調整の部品と組み合わせることによって、どのような高さにおいても強度を損なうことなく安全にドアを止められる器具を提供する。

【解決手段】 ドア・ストッパー (1) の下部に凹凸 (2) をつけ、凹凸のついた高さ調整の部品 (3) と組み合わせることを特徴とする。

分解斜視図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ドア・ストッパー（1）の下部に凹凸（2）をつけ、凹凸のついた高さ調整の部品（3）と組み合わせることによるドア・ストッパー

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、高さ調整機能のついたドア・ストッパーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、単なる三角柱状のドア・ストッパ 10

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには次のような欠点があった。

（イ） ドアと床の隙間の高さが必ずしも一定でないの

で、サイズが合わない場合が多いという欠点があった。

（ロ） また、それを補うために間に異物を差し込んだりするとストッパーの強度が低下するという欠点があった。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。 20

【0004】

【課題を解決するための手段】ドア・ストッパー（1）の下部に凹凸（2）をつけ、凹凸のついた高さ調整の部品（3）と組み合わせる。本発明は、以上のような構成よりなる、隙間の高さに応じて調節できるドア・ストッパーである。

【0005】

【発明の実施の形態】ドア・ストッパー（1）の下部に凹凸（2）をつけ、ドアと床の隙間の高さに応じて凹凸 30

って、どのような高さにおいても強度を損なうことなくドアを止められる。

【0006】

【実施例】（イ）側面が三角形あるいは台形をしたドア・ストッパー（1）の下部に凹凸（2）をつける。

（ロ）（イ）のドア・ストッパーの下部の凹凸部分に適合した高さ調節機能の部品（3）を設ける。なお、この部品の下部にも凹凸が付いていて、何枚でも重ねられる。

（ハ）（イ）と（ロ）を装着して、隙間の高さに応じて厚みを調節する。本発明は以上のような構造で、これによって、強度が確保されたまま、ドアと床の隙間の高さに応じてドア・ストッパーが設置できる。なお、図4に示すように、この凹凸部分（2）および（3）の形状は溝形のかわりに、鋸形の凹凸、円形の凹凸などにもよい。

【0007】

【発明の効果】ドアと床の隙間の高さに関わらずドアを止めることができ、しかも強度を失わないために安全であり、単にドアを止めるという用途のみならず、防犯、事故防止にも役に立つ。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の分解斜視図である。

【図2】本発明の基本的組み合わせの断面図である。

【図3】本発明の複数組み合わせ例の断面図である。

【図4】本発明の他の実施例を示す斜視図である。

【符号の説明】

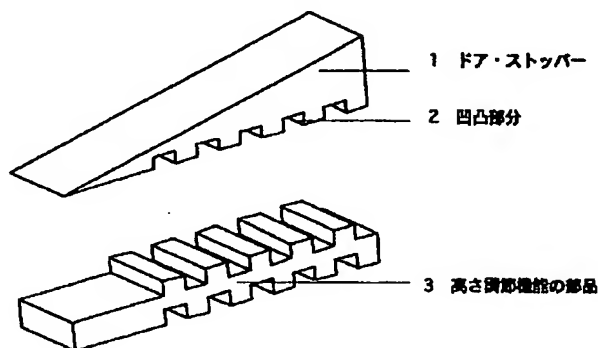
1 ドア・ストッパー

2 ドア・ストッパー下部凹凸

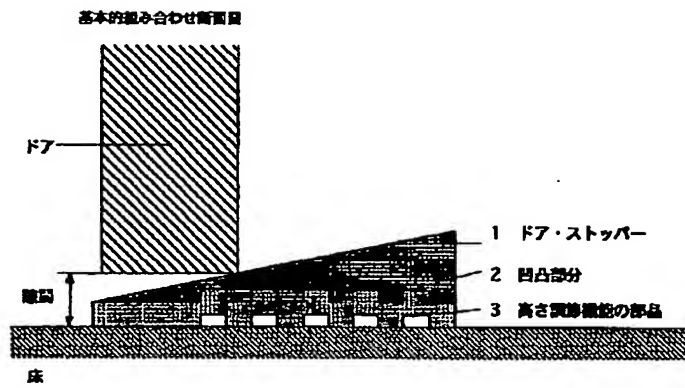
3 凹凸のついた高さ調節機能部品

【図1】

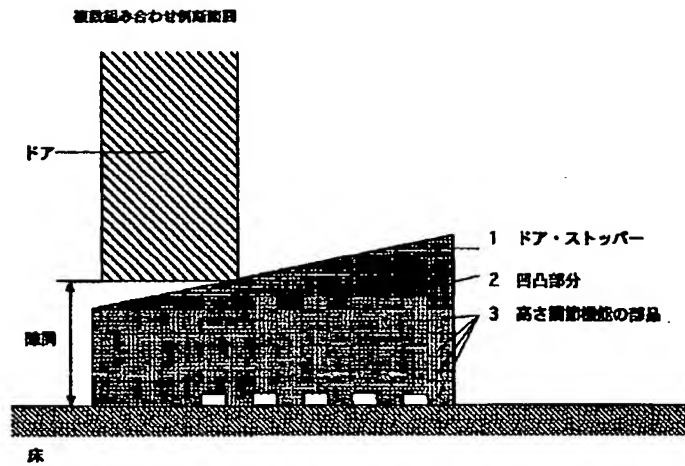
分解斜視図



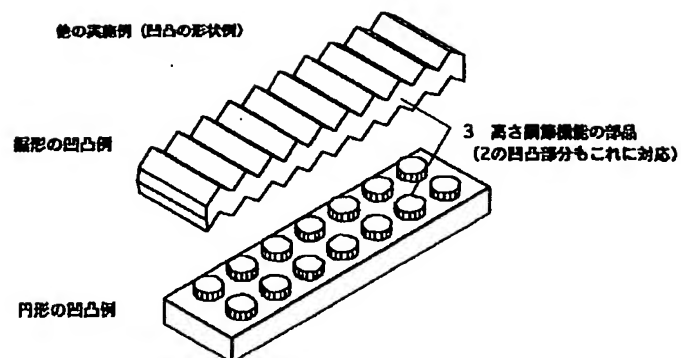
【図2】



【図3】



【図4】



DERWENT-ACC-NO: 2000-360297

DERWENT-WEEK: 200031

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Door stopper has wedge shaped height adjustment mechanism with toothed lower portion which attached with another toothed component for height adjustment

PATENT-ASSIGNEE: UKAI T[UKAI]

PRIORITY-DATA: 1998JP-0327425 (October 13, 1998)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2000120316 A	April 25, 2000	N/A	003	E05C 017/54

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2000120316A	N/A	1998JP-0327425	October 13, 1998

INT-CL (IPC): E05C017/54

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000120316A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The wedge shaped height adjusting mechanism of doorstop (1) has lower part (2) with teeth. The lower part attaches with another component (3) with teeth for height adjustment according to the need.

USE - For use in crime and accident prevention.

ADVANTAGE - Regardless of the clearance gap between the door and the floor the doorstop holds the door because of height adjusting components. Is highly safe and durable. Useful for crime prevention and accident prevention.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the cross-sectional view of doorstep.

Doorstop 1

Lower part 2

Component 3

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/4

**TITLE-TERMS: DOOR STOPPER WEDGE SHAPE HEIGHT ADJUST
MECHANISM TOOTH LOWER
PORTION ATTACH TOOTH COMPONENT HEIGHT ADJUST**

DERWENT-CLASS: Q47

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-270944